# 学校栄養教諭による牧場体験研修を開催

美祢農林事務所畜産部
平成 21 年 8 月 11 日

県畜産振興協会及び宇部・美祢地域地産･地消推進協議会の主催により、美祢市美東町の秋吉台肉牛（にくうし）ファームで８月４日、管内の学校栄養教諭を対象とした牧場体験研修が開催され、美祢市及び宇部市の学校栄養教諭等約２０名が参加しました。

学校給食に携わる栄養教諭が、肉用牛の生産過程や飼育環境を理解することや、牧場関係者と情報交換することで、学校給食での県産牛肉の利用促進を図ることを目的としています。

参加者ははじめに、松林専務から秋吉台肉牛ファームの概要や注意点を聞いた後、各施設や牛の見学に移りました。

哺育牛舎、育成牛舎、肥育牛舎及び繁殖牛舎では各過程ごとの牛の様子や、エサの違いに感心していました。

また、堆肥舎では、ここでできた堆肥が地元の農家へ渡り、お米や野菜の栽培に使われたり、稲作農家の籾殻が牛床に使われるという「耕畜連携」についても学びました。

施設見学後、会場を桂岩ふれあいセンターに移し、秋吉台肉牛ファームで生産された牛肉、及び耕畜連携でできた地元の野菜を使ったバーベキューに舌鼓を打った後、県農林総合技術センターの惠本専門研究員から肉用牛の基本について学びました。

参加者からは、「耕・畜が連携し今後も安心・安全な農産物を作ってもらいたい」、「学校給食の場でもできる限り地元産を使っていきたい」といった感想が聞かれました。

美祢農林事務所では、今後も学校給食における地産・地消や、農業、畜産業の振興に力を入れて取り組んでいきます。

育成牛舎内の子牛の見学

熱心に講義を聴く参加者